



おぐに議会だより

第13号

平成25年8月10日

ふっ、日本ー！

恒例の伝承芝居が今年も盛況に行われました！！5月27日 杖立 児玉智博撮影

◎1,625万円追加補正
(一般会計)

◎町政を質す(一般質問)

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592

熊本県阿蘇郡小国町宮原1567の1

TEL.0967-46-2119

▶ 専決処分事項の承認

専決第1号 小国町税条例の一部を改正する条例(平成25年4月1日施行)

- 主な改正点
- ・ふるさと寄付金にかかる寄付金税控除の見直し
 - ・住宅ローン控除の延長・拡充
 - ・延滞金・還付加算金利率の見直し
 - ・東日本大震災復興支援税制の改正

専決第2号 小国町国民健康保険税条例の一部を改正する条例(平成25年4月1日施行)

- 主な改正点
- ・特定世帯等に係る軽減特例措置の延長等

専決 第1号・第2号とも全会一致で承認

▶ 補正予算

議案第46号 平成25年度小国町一般会計補正予算(第1号)

1,625万1千円を追加し、総額48億5,425万1千円とした。

補正の主なもの

公有財産の購入費(大分交通の土地の購入)……………	160万円
防災行政無線中継所補修費……………	100万円
ゆうステーションのガラス補修費……………	130万円
小国町住宅リフォーム助成事業補助金……………	100万円
学校建設費道路部分の調査測量設計費……………	300万円
職員の異動及び新入職員配置に伴う人件費が主である。	

議案第47号 平成25年度小国町介護保険特別会計補正予算(第1号)

108万1千円を追加し、総額9億5,560万円とした。

主なものは通信運搬費・一次予防事業委託費・包括支援事業費である。

議案第46号・議案第47号とも全会一致で可決

諮問第1号 人権擁護委員の推薦

前人権擁護委員の退任に伴う新委員の承認 原山 清美 氏に決定

賛成多数により同意

請願第1号 「生活保護基準の引き下げはしないこと」を国に求める意見書の提出を要請する請願書

請願者 阿蘇生活と健康を守る会 代表 竹原 祐一

請願第1号は賛成少数により不採択

小国町議会委員会条例の一部を改正する条例

産業課商工係所管に属する事項及び情報課観光係の所管に属する事項について、産業常任委員会で審議する事になった。

委員会・委員等の改選

議会運営委員会	委員長 時松 唯一	副委員長 北里 勝義	原山 光成	奴留湯哲宣	穴井帝史
総務文教福祉常任委員会	委員長 北里 勝義	副委員長 時松 唯一	北里 邦治	松崎 俊一	梅木隆志
			児玉智博		
産業常任委員会	委員長 奴留湯哲宣	副委員長 松本 明雄	原山 光成	穴井 帝史	渡邊誠次



自動対外式除細動器 AED

渡邊 誠次

図AEDは心室細動状態の心臓に電気ショックを与えて、心停止から回復させようという医療装置である。使用方法が比較的簡単で必要な状態時には装置が自ら判断し、一連の動作の流れを音声で指示する。AEDの設置状況は住民に周知等、徹底されているのか。

【総務課長】公共施設、町が管理する施設では14施設に16台。町内全域では約33台設置されている。

図病院、医療従事者、救急隊等適正数の維持、又、病院等が近所であればよいが、条件の悪い所ではより広範囲に必要ではないか。AEDのメンテナンスは。

【総務課長】緊急時に本来の能力を発揮するためにも、機械の設置日、あるいは購入業者とも協議しながら有効に活用できる対策をとっていきたい。

図夜間の使用は可能か。

【総務課長】夜間においてAEDを使用できる施設箇所は少ない

現状である。

図小国町の現状ではよりAEDの必要性があるのでは。

【町長】交通に不便な地域、救急車の到達時間が長い地域、遠隔地であるほど必要性は感じているが、小国町では公共施設に中心的においてあるのが現状。今後どこに、時間的な制約がないように、また管理体制等、様々な角度で検討していく。

小国町の現状では地域は地域内の人間でまず共助（お互いに助け合う）する体制をつくる必要がある。医療体制を手厚くすることが非常に難しい現状でAEDの広範囲の設置、配備を含め、自衛の手段の厚みが重要である。



国保税の引き下げを

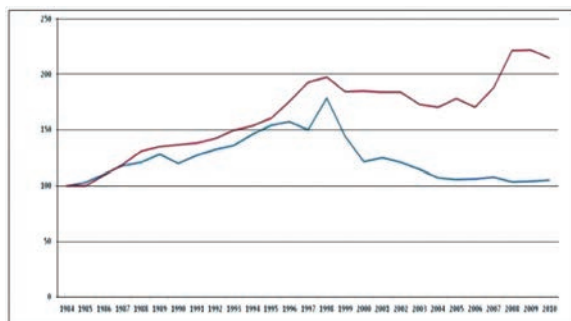
児玉 智博

図今年度は国保税率の改定は見送られたが、負担能力に照らして妥当だろうか。1984年以降、一人当たりの町民所得は98年を最高に減り続けている。一方で一人当たりの国保税は上がり続け、10年は7万8059円だ。同時に年寄りの一部負担金の定率1割化など給付は縮小されている。どのように受け止めるか。

【福祉課長】負担が増えてきたというのはそうだが、医療費も伸びている。負担が増えるのは当然だと思う。

【町長】負担を低くとの思いはある。予防に力を入れ、何とか税を上げないようにしていかねばならない。

図健康づくりは大切だが、財政圧迫の原因は国庫負担の削減だ。抜本的改善にはならない。さらに今後は復興増税や消費増税、物価上昇が行われる。国保税値下げの検討を行うべきではないか。



84年を基準にした一人当たりの国保税(赤)と町民所得(青)の推移(%)

【町長】ご意見として承りながら内部で冷静に判断していかねばならない。

【福祉課長】国の動きも見ながら今後の対応を行いたい。

年収300万円4人家族のモデル世帯の平均保険料は、被用者保険は8、14万円だが、国保は20、32万円で国保世帯の負担が突出している事は明らか。引き続き町民負担軽減のために力を尽くす。



小国町の将来人口推移に伴う課題

時松 唯一

【町長】空き家増加の原因として農林業、産業、観光の衰退等により、雇用の機会に恵まれないことから空き家が増えていると考える。人口減少「27年後4504人」に比例している。空き家所有者に適正管理を求める町条例を作る考えはあるか。

【総務課長】固定資産税概要調書によれば住宅等の5%が空き家である。大字毎では宮原66戸、上田26戸、北里28戸、西里13戸、下城35戸、黒淵40戸の空き家がある。

【町長】空き家と人口減少は繋がっている。防災面の条例は多いが、空き家を定住促進のための利活用等の条例もあって良いと思う。

【町長】小国高校はこの地域に残さなければならぬ思いはある。

【教育長】学力をつけることで小国高校から希望の大学、就職に

進めるように子ども達を育てたい。

【町長】小国町滝巡り構想での土田滝の進捗状況は。

【情報課長】滝は小国町に数多くあり、観光資源として整備していきたい。計画中ではあるが、具体策には至っていない。今後説明をしながら展開していきたい。

【町長】5月23日に湯けむり茶屋で起きたセパレータ破裂事故は指定管理体制の不備だと考えるが、町職員は現場を見ているのか。また全職員は把握しているのか。

【情報課長】観光課担当者2名、他1名、総務課長、町長に連絡し、事故当日に工事工程を決めた。

【町長】ゆけむり茶屋は町の所有であり、管理とメンテナンスは日頃から行っている。また、損益状況まで含めて深く情報交換をしている。



阿蘇世界農業遺産・耕作放棄地・納税方式移行

穴井 帝史

【町長】阿蘇世界農業遺産の認定を契機に行政の検討事業は。

【町長】町単独ではなく市町村が連携してのシンポジウム、エリアの伝統野菜等を農業と商工業が一丸となつて取り組んでいきたい。

【町長】阿蘇原維持となる野焼きの存続も危惧される。町としての対策は。

【町長】非農地化という考え方もある。地域将来像の検討が今後必要となる。

【産業課長】小国町内9の牧野の内、実質7の牧野が現在野焼きを実施している。阿蘇グリーンストック等、新たな阿蘇地域の活性化を草原維持することを前提にその戦略を立てている。毎年実施している農業委員会等による農地全般に対しての維持管理パトリールの進め方も今後議論していきたい。

【町長】耕作放棄地の現況は。

【産業課長】耕作不利益地である。高齢化問題もあるが、区画整理



阿蘇の草原

の進捗状況に比例している。今後「人・農地プラン」等を通じて地域集落と話し合いたい。

【町長】納税方式変更により状況はどのようにかわったか。

【税務課長】現在60%の口座振替移行率を上げることによって推進していきたい。



地域協力で認知症のサポートを

梅木 隆志

国厚生労働省の研究班によると認知症の高齢者は462万人、軽度認知障害を含めると400万人で、65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症とその予備軍だとされているが、小国町の状況とその対策は。

【福祉課長】介護認定の介護1～5の方の介護保険者612名のうち519名が何らかの認知の状態がみられる。また、介護予防検診を基にすると認知症のリスクを負っている方は4割程度いる。対策としては、介護保険者にはケアプランによる個別対策、介護保険対象外の高齢者に、元氣クラブ等で認知症をできるだけ進めないトレーニングの実施、周りの一般の方に認知症を理解してもらうため認知症サポーター養成講座を実施している。

国県内の山都町では平成21～22年に、認知症サポーター養成講座の講師を200人弱養成し、サポーター講座をそれぞれの老人会や婦人会で実施し、認知症サ



ポーターが2700人になり、人口の14.7%となった。地域で高齢者をサポートしていくためには認知症サポーター養成講座を老人会や学校等で開催していくことが重要だ。

【福祉課長】昨年は、北里・宮原の婦人会、北里協議会、小国高校で開催してきた。今後は各地の老人会や婦人会に働きかけていきたい。



スポーツ振興・遊具の設置

松崎 俊一

国平成24年度から総合型地域スポーツクラブ「ゆうあいクラブ」が発足し、町やサッカーくじの助成金で運営されていると聞く。行政の関わりと今後の取組みや支援体制は。

サッカーくじの助成が5年間あるが、その後は住民の方々の会費や寄付、補助金などでの運営となる。今の段階から住民の方々の理解や協力、積極的な参加が必要と考える。

【教委事務局長】totoの助成が28年度で終わる。現在の問題点は、会費と会員が非常に少ないこと。今後いかに増やしていくかが課題。できなければクラブの存続も難しい。

【教育長】熊本県の会議に参加していた学校代表の話では、部活動による教職員の負担軽減も課題で地域総合型クラブと一緒にできないかという意見もある。

【町長】全体的な健康増進という意味で町も連携が必要と思う。学校の部活との連携も課題と思



けやき広場

う。スポーツの振興から、健康づくり、生涯スポーツへ、また介護予防も視野に。保険料、医療費の抑制にもつながる大切な取り組みと思う。

【総務課長】これまでも意見も聞いている。早速調べたい。

国ケヤキ広場からスギトピア公園にかけて、子育てのお母さんなど見かける。小さな子ども向けの遊具の設置についてどう考えるか。



ふるさと納税(寄付金)と下水道 (農業集落排水)

松本 明雄

圃ふるさと納税(寄付金)を少しでも多くの町外の人に推進してもらいたい。

【町長】トップセールスとして行っていききたい。ホームページにも紹介しているが、今後は解りやすいパンフレット等も考えている。

圃農業集落排水は特別会計になつており、莫大な費用がかかっている。小国町の地形では高低差があり、ポンプの数も多く、またポンプへの負荷も非常に大きいと思うし、溜桝も一ヶ所で処理費用も膨大である。今後の方針は。

【建設課長】一般会計の繰入金と基金からの繰入金で経営している状況。上水道に比べて下水道は経営的に非常に厳しい状況にある。確かに高低差があるため西里地区ではポンプが21基、黒渕では25基あり、それに伴う電気料や維持管理の経費が膨らんでいる。地形上等の理由により解決方法が見つからない。将来においてこのままの厳しい経営が

大きくならないように対策の検討をしていきたい。



土田地区のようす



小国町役場税務課



黒渕犬坊田湿地の再生活用 と町文化財の保存

北里 勝義

圃町有地犬坊田湿地は、約3ヘクタールあると理解している。過去の環境調査等から、重要な希少植物の生育が確認され、保護対策に取り組んできている。自然環境豊かなところであり、今後保護対策に取り組みながら、子供達の自然環境教育の場、また小国町を訪れる人達の自然環境散策の場となり、町の観光資源の一つになると思うが、この湿地の再生と活用について、町の考えは。

【総務課長】現在、熊本植物研究所と無償賃貸契約の下で、管理・調査等を行っており、連携を取りながら検討したい。

【町長】計画的には、学校の森構想もあつたが、今後いろんな提案やアイデアの中で検討したい。

【教委事務局長】小学校で小国の自然を知ろうという授業を行っており、見せながら保護していく考え方もあるので検討したい。

圃文化財は長年の歴史の中で培われ、大事にされ伝承してき

たもので、次の世代に引き継いでいかねばならない財産だと思う。文化財の紹介や解説したマップの作成や、町広報誌等に掲載して、広く町民に啓発していかねければならないと思うが、町の保存に向けての考えは。

【教委事務局長】文化財の一覧表や写真等は保存している。文化財保護委員の指導を受けながらマップの作成、広報誌やホームページ等の掲載を検討したい。

【教育長】小国郷の会議等で、写真や解説等入れて紹介した経緯もあり、関係者と相談しながら検討したい。





微小粒子状物質(PM2.5)測定局 阿蘇管内追加設置決定 北里 邦治

岡町長は3月議会において阿蘇管内で測定器が未設置の状況に、たいへん残念であり、今後他の市町村とも連絡をとりながら県に対して強く要望をしていきたいと答弁をしたが、その後の経過報告を。

【町長】6月県議会の補正予算が地元紙では報道されているが、測定器設置箇所を県内に4か所程度増設の予定であり、空白地の阿蘇が有力候補ではないかと期待している。今後とも県に対し、機会ある毎に設置を要請したい。

岡5月中旬にPM2.5が基準値を超えたが、小中学校の対応は。また学校の対応の理解だけではなく、家庭との連絡を密にし、基準値を超えた場合に学校での対応を報告し、家庭において十分に注意喚起ができるようにしなければならぬのではないかと。

【教育長】保護者にも情報が伝わっていないと心配をかけるのでPM2.5の対応については保護者宛の新聞に掲載配布し、周知

徹底を行う。

【保育園長】PM2.5が基準値を超えた日には室外に園児を出さないようにしている。



※6月の熊本県議会で補正予算が可決成立し、測定器の阿蘇管内設置が決定した。



定期的な安全管理を望む 奴留湯 哲宣

岡町道の安全管理について、近年水道管敷設替えを実施し、交換部分だけの白線(路側帯)が引いてあり、不自然な状態で路側帯の役目を果たしていない現状がある。場所によっては数年が経過したところもあり、歩行者の通行に支障をきたしている。定期的な路側帯管理など実施しているのか。

【建設課長】現在実施していない、舗装の全面工事の時、路側帯を引いている。

岡町道を見てみると、路側帯が消え全く見えない状態のところがある。せめて集落内など歩行者が多いところは路側帯を定期的に引き安全確保を図ってほしい。そのためには定期的な管理を行い、危険箇所



の路側帯の補修を要望する。

【建設課長】充分考慮し補助事業の調査に組み入れた。

【町長】担当課と協議しながら行っている。ご意見等を頂きたい。

岡農地の保全対策について、近年森林の間伐不足による農振地の日照不足により、収量不足が起き、農振地の危機が良く聞かれる。間伐や伐採も採算が取れないので、森林の持ち主にもお願いしても難しい状態である。町として農地保全をどのように考えているか。

【町長】権利者同士の話であり、例が多くあるのが現状である。行政としては限界があると思うし、なかなか介入が難しいのが現状である。





経済活性化のためセールスマンの雇用を

原山 光成

園町がどうしたら元気になるか活性化できるか。いつも尋ねる内容を質問する。町を活性化するために町の産物売るセールスマンを雇用しようと、昨年12月の議会、3月議会と提案しているが、町長は、賛意は示しても具体的な答弁はしない。町の現状は、将来は4500人の町になると国が示している。国は骨太方針で活性化や行財政改革を具体的にやる自治体には交付金を増額するとまでいつている。町長は、町民に未来へのビジョンを示し、夢の持てる政策を丁寧に説明する責任がある。町の産物売るセールスマンを雇用して、町の活性化を進めるべきだ。明確に具体的にどうやるか示さなければならぬ。

【町長】町の産物売るセールスマンは非常に大事という認識はしている。この雇用の悩みどころは、公募で良いのか、本採用とか臨時とか、適任者の部分で悩む所である。



薬味の里おぐにオープンのような

園その答弁は、毎回同じで具体性がない。半年間考えての結論なのか。町民は活性化対策を待ち望んでいる。四国の馬路村も大山町も最初は小さな事から始まったのではないか。

【町長】セールスマンは採用しないとは言っていない。議員12名の総意でこの方というのであれば考えて行きたい。

おぐに議会だよりが小国町のホームページに掲載されます。

※掲載は8月中旬ごろの予定

いつでもパソコン等から議会の広報誌を見ることができるようになります。

次回の小国町定例会は9月中旬の予定です。
皆様の傍聴をお待ちしています。

編集後記

今年の梅雨は、入るのも早かったが明けるのも早かったたので、雨の量も平年より少なく、災害もなく過ぎたことは大変うれしい事です。その代わりどうも猛暑になりそうです。猛暑になれば野菜の生育に影響が出ないか心配で、海水の水温上昇で台風が発生も増加するそうです。

議会は常により良くなるように改革が必要ですが、天気だけは平年並みで穏やかであって欲しいものです。

(梅木)



広報特別委員会

委員長 渡邊 誠次
副委員長 梅木 隆志
委員 奴留湯 哲宣
児玉 智博

発行責任者

高村 祝次